

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		社会教育委員活動費 [社会教育委員活動事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業番号	3	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	生涯学習（社会教育） 課 生涯学習					係	課長名 高田 匡章					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 2			
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書 (ページ)	35			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	市民					人口（令和3年4月1日時点）						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
市民の生涯学習活動を推進する					東大和市市民意識調査における「生涯学習の充実」の満足度 ※「非常に満足」「満足」と回答した市民の割合							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
①市内の社会教育に関する議論・研究 ②教育委員会からの諮問に対する答申や教育委員会への提言 ③東京都市町村社会教育委員連絡協議会の総会・理事会等 ④東京都市町村社会教育委員連絡協議会の第2ブロックのうち、幹事市による研修会の開催（令和3年度）					①社会教育委員会議の会議数 ②答申・提言件数 ③東京都市町村社会教育委員連絡協議会の会議数 ④研修会の開催数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,297						
	成果指標	②の数値	%	22.7	16.1	16.6						
	目 標	②の目標値	%	32.90	32.90	32.90						
目標値設定の考え方 東大和市総合計画（第四次基本計画H25～R3）において、令和3年度における目標値を32.90%ととしている。												
活動指標		③の数値	回	①11 ③5	②2 ④0	①11 ③5	②1 ④0					
3 経費	事業費（実績）		円	1,239,694	1,042,608	933,690		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	1,239,694	1,042,608	933,690						
		特定財源（国・都・他）	円			0						
		（うち受益者負担）	円			0						
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人		0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人	0.6	0.3							
		職員人件費(再任用以外)	円		2,514,000	2,475,000						
職員人件費(再任用)		円	2,350,200	1,188,000								
事業費+人件費		円	3,589,894	4,744,608	3,408,690							
4 環境変化等	(1) 開始年度		S41 年度									
	(2) 環境の変化 社会教育法（昭和24年法律第207号）に基づき、東大和市社会教育委員の設置等に関する条例が昭和41年4月1日に施行。 社会教育課題について、教育委員会に対し、隔年で提言を提出している。 特に、今年度の定例会においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、市内の社会教育の環境が大きく変化していることを踏まえ、その課題についても議論を重ねたところである。											

事業名称	社会教育委員活動費 [社会教育委員活動事業]			
担当部署・課長名	生涯学習（社会教育）	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

特になし

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☒ 取り組んだ

☐ 取り組まない

取組手法：⑤社会教育関係団体連合体補助金に関する諮問に対する答申

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、社会教育活動が十分行えるよう、その支援を行っていく。

7
課題

(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

第2ブロック研修で学んだことを生かし、令和3年度に教育委員会へ「提言」を提出する。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。

令和3年度は提言として、「シニアが生き生きと生涯学習できるまちづくりを目指して～シニアが地域の人々とつながる力を育てる～」をまとめた。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

社会教育と生涯学習の理解を深め、社会教育委員の役割、提言を策定する意義などについて考えを深める。

8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 生涯学習の充実

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

令和4年度は、令和5年度の提言作成に向け、研究テーマを検討していく。

また、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、どのように社会教育活動・学習を推進していくか議論していく。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

研究テーマの決定や提言の準備に当たり、関係部署や関係機関への協力を求めるため、事務局として調整する。